

広
報

な かつ え

47年10月号

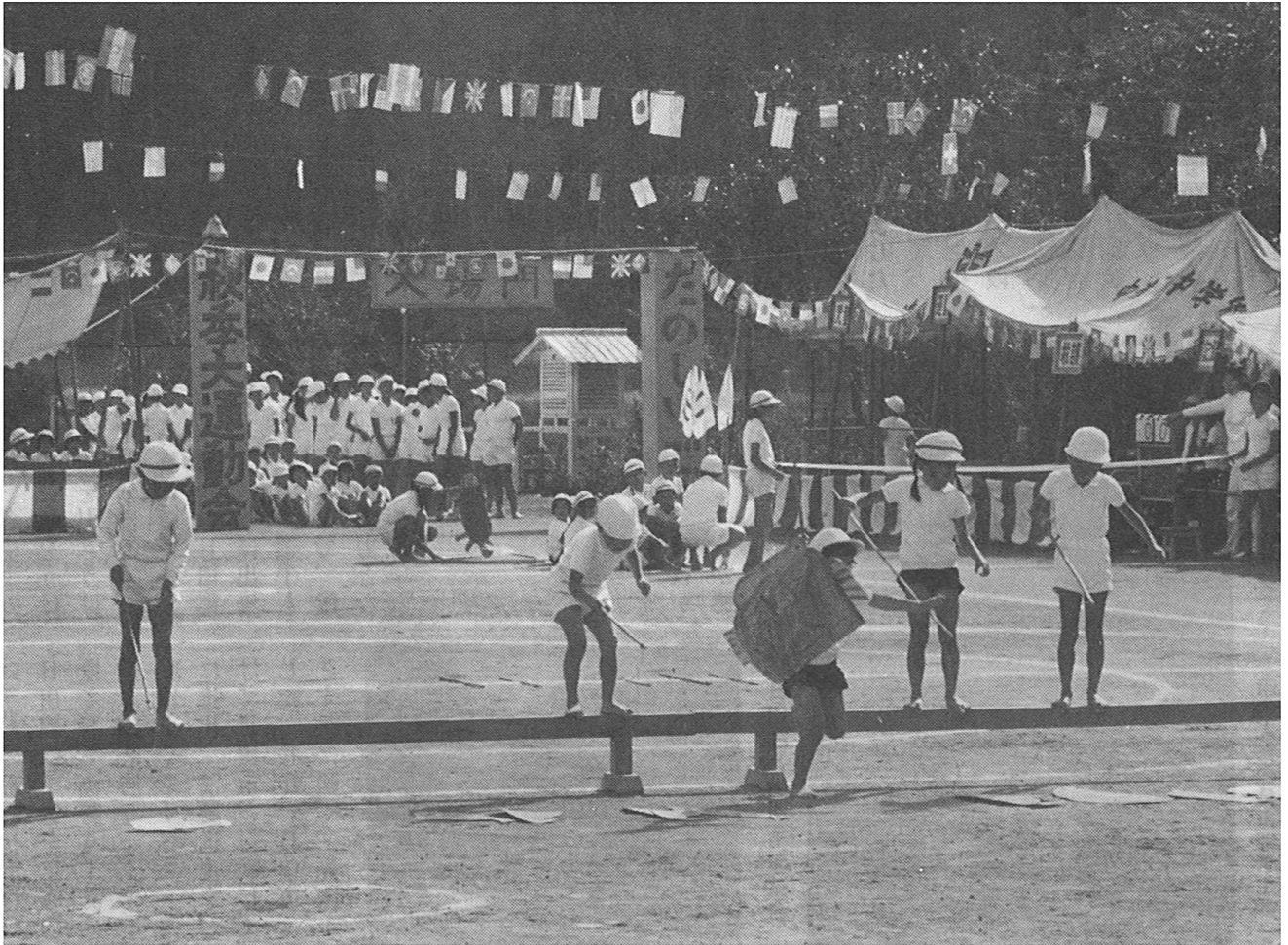
【第114号】

発行所

編集発行人

大分県・日田・中津江村

斉藤隆一



なかなか思うようにつれない 魚釣り競争（川辺小にて）

楽しい運動会

勝っても、負けても楽しい小学校の運動会です。

ぬけるように高く晴れ上った空の下、はじけるように元気な子どもたち、それにつられたように大ハッスルのおとうさん、おかあさんだれもが楽しい一日でした。

玉投げ、ダルマさん、綱ひき、どれも私たちになつかしい競技ばかり、子どもさんのランニング、おとうさんの竹うま競技が終ると次はおかあさん方ははなばなしのおどり、次々にプログラムはすゝむ。

午前中の部がすんでおべんとう開き、ゆうべからおかあさんが腕によりをかけてつくったおごちそうの味もまた格別でした。

この楽しい運動会はどの子らにも、子どもの頃の思い出としてのこることでしよう。

人口の動態

47年10月1日現在

人口	2,794人
男	1,345人
女	1,449人
世帯数	667戸
住民基本台帳から	

評をうけて終る

さんへありがとう

第二十五回大分県民体育大会中津江会場（剣道、サッカー、山岳）は、村民あげての協力をうけ、非常な好評をうけ無事三日間の競技を終ることができました。

中津江に入った各郡市のチームは、先ず栃

原団地がか、げた歓迎の横断幕と万国旗にむかえられ、道路では各所に交通指導員が、駐車場では消防団員の警備が、会場では婦人会のお茶のサービスとこれまでもこの県体でも受けたことのない、温い心づかいに「中津江の皆さん本当にありがとう」といって帰って

ゆきました。各チームからお礼の言葉をうけてこれで県体を引きうけた意義が充分にあつたと心から喜んでいきます。また本村から日田郡代表として県体に出場した二十二名の選手も力一杯のプレーで、躍進賞二位の原動力となりました。

いうものもありました。日田郡は予選を二勝〇敗で勝ち決勝リーグに進み、決勝リーグでも玖珠をやぶりベスト四に進出、決勝進出をかけて日田市と対戦しました。しかし日田市はさすがに強く、先鋒か

ら四人がやぶれ決勝戦進出はなりませんでした。地元の期待をになつた斎藤村長と野仲巡查長も大活躍、村長は日田郡の大将として出場四戦して三勝一敗、村長が一本きめることに館内から大拍手がおきました。野仲さんも相手の懐に飛込んできめる得意の胴を連発、見物の人をわかせました。試合は順調に進み一位の日田市、二位大分市、三位大野郡、四位日田郡となりました。

のよい運営ぶりだったと感謝されました。特に婦人会による選手控室へのお茶のサービス、清掃は、どこへ行ってもこんなに良くしてくれるところはないと言われました。剣道関係の人たちも補助員として陰で県体をさ、えていただき本当に有難うございました。

四位入賞をはたす

剣道で村長大活躍

中津江中体育館で開かれた剣道は、この村から斎藤村長、野仲巡查長が出場し上位入賞が期待されただけに、中津江会場では一番のにぎわいを見せました。

とに出され、見物している者にはどこに技がきまつて、どちらが勝つたのかわからん、と

日田郡と竹田市の試合



一方運営の方も非常に評判がよく、閉会式では国体に準じるほど

サッカ―会場は村が県体サッカ―誘致とこれからのスポーツ向上のため力を入れて作つただけに、参加の選手もこんなに広いところで試合をすることはな

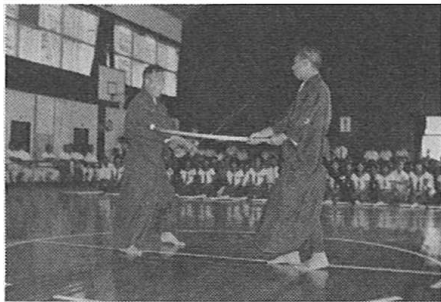
お茶のサービスにジンクス

い、と目を丸くしていました。初日の九日はあいにくの雨で、グランドには数カ所の水たまりがありましたが、地元係の人たちの早朝からの作業で予定どおり試合を進めることができました。

開会式につづいて、伊藤亮七段（元鯛生中学校長）と斎藤隆一六段の日本剣道形十本がおこなわれ、剣道の気合いと技の美しさを見せてくれました。

試合は一時から始められ、県体にふさわしい高度の技が各試合ご

形を演ずる伊藤・斎藤氏



四位入賞の日田郡チーム



中津―別府の決勝戦



サッカ―には日田郡は参加していません

好(剣道)体(山岳)各チームから皆

各チームから皆

本村からの出場選手と種目

▽陸上 児塔民和、平田紀美子、杉本幸子、鷹野勉、合谷信義、石川国宏、矢野隆義、永瀬康敏、武原勇一郎、渡辺辰己、大内啓康、川良真二、佐藤山樹、

▽卓球 豊田哲治、溝部和男
▽野球 矢野盛祐、▽バトミントン 齋藤孝子、森本久宣
▽剣道 野仲進、齋藤隆一、▽山岳 中元富太、小江一彦
▽議員野球 森脇茂 武原芳郎

したから、見物に来た小学生は別府と津久見の試合をみて、どちらが近いかをきいて、近い別府を応援する、というしまつ。こゝでも婦人会によるお茶のサービスは人気がよく、ついには先にお茶をのみに行つたチームが勝つ、というジンクスが出来て、グラウンドはつくとすぐお茶をのみに来るチームが出ました。係員は一試合終るごとに広いグラウンドの手入れをし、三日目の優勝戦前には、少しでもよい状態で試合を、と中津江中の全生徒と係全員で石をひろい、砂を広げ、ラインを引きな

をしました。これには決勝戦にのぞんだ中津市、別府市とも非常に感激し、こんなにしてくれるのだ、頑張らね

チームワークで十二位に

山岳に多くの協力が

山岳は上津江村都留小学校で入山式をおこなつたあと、洒呑童子山をこえ、第一日目の宿泊地洒呑童子キャンプ場へ向いました。日田郡チームはテントの張り方、天気図作成などは苦手種目でしたが、監督を中心にしたチームワークと体力で、十二位に喰込みま

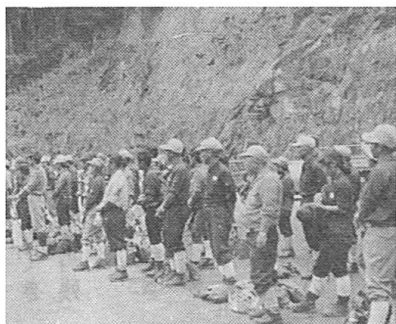
した。山岳でも地元の方が大変協力をしてくれました。洒呑童子キャンプ場を提供してくれた牛島寿太郎さん、朝三時ごろから起きて食事の仕度をしてくれた中川内の婦人会の方、二日目のコース途中でお茶、お菓子を出してくれた梶原平記さん一家、またどなたかわか

百で児塔選手優勝をのがす

中津江会場でおこなわれた三種目のほかに日田市でおこなわれた各種目に、本村の選手が活躍しました。陸上では、四〇才台の百メ

りませんが下切から丸蔵までのコースで邪魔な木や竹を切つておいでくれた方など本当に有難うございました。県下から参加した選手を通じ、洒呑童子、渡神からのすばらしい眺めと共に、中津江の温い人情が伝えられてゆくこと、思います。

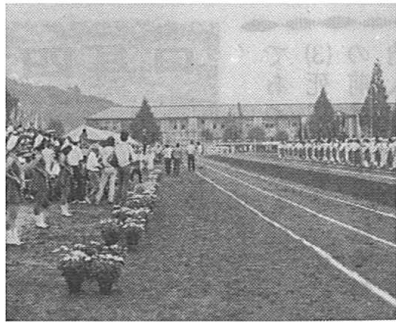
ートルで出場した児塔民和選手は、予選を一位でとり決勝戦でもスタートからトップにたつて、予想どおり優勝と誰れもが思った瞬間、アキレス腱を切つて転倒、ただちに入院しいまは自宅に帰って療養しています。陸上ではこのほか武原勇一郎君が砲丸で六位に入賞、バトミントンはベスト8に進出するなど各種目とも良い成績をあげ、昨年の一・一・五得点に一挙にあげり躍進賞二位(一位日田市)にかがやきました。



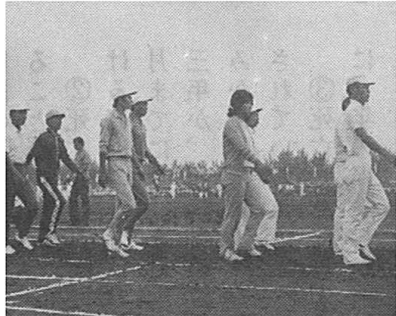
入山式



出発する日田郡チーム



陸上開会式



行進する本村選手

引き揚げ者の

寄託品は返えされま

終戦後海外から本邦に引き揚げた軍人、軍属、一般邦人が、本邦に上陸の際税関又は外

まも税関で保管中です。これらの通貨や証券等は返還につとめてきました。また、まだ相当残っているそうです。前記のように寄託されてきた方で、返還を受けていない人は、本邦に上陸した港を所轄する税関、又は最寄の担はあるものの、国、県での支払いが多く、ほとんど無料です。結核は伝染することをよくわきまえて検診車がよくきたら必ず受診し早期発見につとめ、衛生知識とわかり易い栄養の勉強をおこたらず家族が健康で楽しい生活ができるようにつとめることも、私達婦人の役目ではないでしょうか。

婦人会の広場

結核予防婦人会議に出席して

会長 田島美砂

九月十九日、日田保健所で結核予防婦人会議が開かれました。

出席者は、日田市郡の婦人会の役員の方々です。

保健所長、保健婦長さん方のお話があり、全国で大分県が結核患者の一番多いという、誠にありがたくない日本一だそうです。

年令別にみますと、四十才代から六十才位までの働きざかりの人が多く、家族の主な方が病気になる

ことは、どれだけ家庭内において不幸であり困ることか、皆さんもおわかりの通りです。結核はいうまでもなく、感染度の最も高い病気で、そのため年一回の結核健康診断は法律で義務づけられているものです。

津江村は八六・九パーセント、病気の人や、不在の人以外はほとんど受診されていることになるそうです。レントゲン検診車が私達の部落までできてくれば、簡単な方法で、直ぐ検診ができ、しかも無料です。

受診率の良い所、前

もし、不幸にして感染されていても、早く発見されたほど、早く治り、病状により入院、通院の治療方法があり、治療費はその人の所得に応じていくらかの負

四耳口

遺児年金は次の要件が必要と なっています。

① 父または母が死亡したこと。
② 父または母が死亡日において年金の被保険者であったこと。
③ 死亡者がその死亡日の前日までに保険料を納入していること。
④ 受給権者の子供は死亡者の死亡時に満十八才未満であるか、または二十才未満で病気等の廃疾状態であること(5)その遺児は死亡者の死亡時に生計が同一であったこと。

遺児年金

以上ほかに保険料納付要件が次の各項でその内いづれか一項に該当されれば支給できます。

① 死亡日の属する日の前日まで、保険料を納付した期間が十五年以上であるか、または五年以上あってその期間が、被保険者期間から免除期間を差引いた期間の三分の二以上あること。

② 死亡した月前における直近の基準日の前月までにおける最近の三年か、保険料納付済み免除の認定等で満されていること。

③ 死亡した前月までに一年の保険料が納付されていること。

年金額は遺児一人の場合は年額九万一千二百円(月七千六百円)で、一人増すごとに四千八百円が加算されます。

なお遺児年金としての年令は、前に述べたとおり十八才までで、廃疾の状態の時二十才まで支給されます。

年金については、三ヶ月号からあらましのこのとについて登載しているものから、詳しくは福祉係に問合せください。次号は寡婦年金です。

福祉係

十一月三日「文化祭」を

体育大会など各種行事を計画

村では従来産業祭として、農林産物の品評会を中心に色々の行事を入れて年に一回、楽しみに一日を過してきましたが、農林産物の生産技術が向上された反面、種類の減少したことにより、その名も改め、十一月三日「文化の日」にちなんで「文化祭」を開くことになりました。

行事の内容としては、農林産物の品評会はいたしません、村文化功労者や、社会に貢献された者の表彰を中心に、その他村内の各種行事をもちこんだものと計画しています。

もちろん時期的には少し早い面もありますが、農林業が主な産業である本村にとっては、ことし一年間の生産が豊作であったことの喜

びはかくし得ないもので、当然全村民が集まってくるひろげのお祭りでもあります。

十年ひと昔、そのころは体育祭も別に開かれていましたが、この行事もスポーツ人口の増加、スポーツ振興の意味から体育大会を復活させ、当日の行事のひとつとしていきます。

また、昨年は遺族会主催で行った戦歿者の慰霊祭も、再び村の主催として、特に今年

神事にて行なうことになっていきます。

その他小、中学校児童生徒作品展、盆栽、工芸品展示即売会、民俗資料展、生花展、バザーなどとなっています。

行事の内容や時間については別表プログラムのとおりとなっています。

家族揃ってのご参加をお願いし、ご案内申しあげます。

し、もって文化意識の向揚と住民相互の慰安を目的とする。

二、主催
中津江村

三、協賛
中津江村商工会
中津江村体育協会
中津江村小・中学校
中津江村観光協会
中津江村婦人会
中津江村青年団
中津江村農協
中津江村森林組合
中津江村遺族会

四、開催日時及び場所
日時十一月三日
(文化の日)
場所—中津江中学校

五、実施委員会の設立
1 文化祭を実施運営する機関として「文化祭実施委員会」を設ける。
2 実施委員会の委員は村長が委嘱する。

六、行事
(1) 村文化功労者の表彰並びに感謝状の贈呈
(2) 戦歿者追悼式
(3) 民俗資料展
(4) 小・中学校児童生徒作品展

七、出品、展示物等の管理及び処理
イ 盆栽・工芸品等は出品者自らが管理する
ロ 生花等展示物は展示者において管理する
ハ 本委員会より依頼した出品・参考品等は本委員会が管理し、万一事故あるときは本委員会が弁償の責を負う。

八、出品物、展示品等の運搬について
イ 本委員会が出品依頼した品物については本委員会が運搬輸送する。
ロ イ以外の品物については出品者又は展示者の負担にて運搬する。

九、経費
本会の経費は村委託費(文化祭委託費)をもって充てる。
十、その他
文化祭の行事に参加したもののうち、経費の必要なものについては、その一部を助成または謝礼金、若しくは記念品を贈る。

こどもと老人を 交通事故から守ろう

中津江村交通安全協会



(別表プログラムは六ページに掲載)

